# 授業科目　精神科リハビリテーション学

| 【担当教員名】 | 対象学年 | 3 | 対象学科 | 社会（精神保健福祉コース必修） |
|---|---|---|---|---|
| 酒井　昭平 | 開講時期 | 前期 | 必修選択 | 選択 |
| | 単位数 | 4 | 時間数 | 60 |

【カリキュラムポリシーとの関連性】

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|---|---|---|---|---|
| ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ |

【概要・一般目標：GIO】
精神保健医療福祉領域における精神保健福祉士にとって必要な相談援助及び精神科リハビリテーションの知識、技術を習得する。

【学習目標・行動目標：SBO】
１．精神医療の特性と精神障害者に対する支援の基本的考えについて学ぶ。
２．精神科リハビリテーションの概念及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する。
３．精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士にとって必要なリハビリテーションの知識と技術及び活用の方法を理解する。
４．精神障害者及び家族を対象とした相談援助技術の展開について理解する。

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | SBO番号 | 学習方法・学習課題<br>備考・担当教員 |
|---|---|---|---|
| 1,2 | オリエンテーション／精神保健医療福祉の歴史と動向（日本） | | オリエンテーション／講義 |
| 3,4 | 諸外国の精神保健福祉制度の変遷 | | 講義 |
| 5,6 | 精神保健福祉における活動の歴史／精神障害者支援の理念 | | 講義 |
| 7,8 | 支援の対象／精神障害者の人権 | | 講義 |
| 9,10 | 精神科リハビリテーションの概念、理念、意義と基本原則 | | 講義 |
| 11,12 | 精神科リハビリテーションの構成と展開 | | 講義 |
| 13,14 | 精神科リハビリテーションのプロセス、アプローチ | | 講義 |
| 15,16 | 医療機関における精神科リハビリテーションの展開（１）―精神専門療法 | | 講義 |
| 17,18 | 同上（２）―家族教育プログラム、精神科デイケア、アウトリーチ | | 講義 |
| 19,20 | 同上（３）―チーム医療、多職種との協働、連携 | | 講義 |
| 21,22 | 代表的な精神障害者支援の実践モデル | | 講義 |
| 23,24 | 相談援助の過程及び対象との援助関係（１） | | 講義 |
| 25,26 | 同上（２） | | 講義 |
| 27,28 | 相談援助活動のための面接技術 | | 講義 |
| 29,30 | スーパービジョンとコンサルテーション／まとめ | | 講義／まとめ |

| 【使用図書】 | ＜書名＞ | ＜著者名＞ | ＜発行所＞ | ＜発行年・価格 他＞ |
|---|---|---|---|---|
| 教科書<br>（必ず購入する書籍） | 新・精神保健福祉士養成講座　精神保健福祉の理論と相談援助の展開　1 | 日本精神保健福祉士養成校編 | 中央法規 | 2012・2,700 円・（発 行 2012 年２月） |
| 参考書 | 特になし | | | |
| その他の資料 | 適宜配布 | | | |

【評価方法】
出席状況、レポート、期末試験

【履修上の留意点】
ビデオ学習
演習、レポート提出を適宜とり入れる